

講座名：国際環境資源政策論

注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の可否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

令和8年度(2026年度)後期3年の課程 (春季)	志望講座	国際環境資源政策論
------------------------------	------	-----------

課題 次の A, B, C の3問の中から1つを選び、日本語か英語で答えなさい。回答は、ワープロまたは手書きで作成し、A4用紙3枚程度に収めること。

A. 現在、公共交通の持続可能性向上を目指し、日本各地でモビリティ・マネジメントが実施されている。これについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) モビリティ・マネジメントの定義について述べなさい。
- (2) ワークショップを開催し、行動プラン法を用いたワンショットのモビリティ・マネジメントを行ったところ、参加者の公共交通利用意向が高まった。このとき、行動変容が生じたメカニズムについて、少なくとも3つの観点から説明しなさい。
- (3) モビリティ・マネジメントを行った場合、都市部と農山村部では効果に大きな差が生じることが多い。その理由について、少なくとも2つの観点から説明しなさい。

B. 以下の問題の両方に答えなさい。

- (1) 防災の科学技術の役割について述べ、それらがいかに「仙台防災枠組」達成に貢献するのかを述べなさい。
- (2) 一つの国を事例に、その国の「仙台防災枠組」達成状況について述べなさい。また、それが遅れている点について、その原因をあげ、どのように改善すべきかについて説明しなさい。

C. エージェント経済 (agentic economy) の経済学的な論点について論じなさい。